

みつくら

令和 5年 9月15日 第394号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

大瀬川夏まつりで「盆踊り」が復活

令和元年を最後に、新型コロナウイルス感染症で中止していた「大瀬川盆踊り」は、令和5年8月12日に「大瀬川夏まつり」として4年振りに復活し大瀬川構造改善センターに約100名が集まった。この夏祭りは、「大瀬川夏まつり実行委員会」（熊谷和典委員長）が主催したもので、大瀬川活性化会議が地域の活性化をめざし令和4年から青年部層を対象にワークショップ「オレカフェ」を開催し、地域が楽しめるイベント「大瀬川夏まつり」を企画したもの。実行委員会では開催にあたって地区民から協賛金を募集し、51名から10万円の協力を得た。

会場は多目的ホール中央に櫓を構え、周囲に灯籠を点し、天井は色とりどりの電燈や提灯で飾った。ホール北側のステージでは熊谷一樹さんがギター演奏、亮平さんが歌を歌った。夏まつりのメインはやはり盆踊りで、櫓を囲み「大瀬川音頭」「新石鳥谷音頭」「うかれ音頭」「ダンシングヒーロー」などを踊っていた。「ダンシングヒーローって何？」と聞いてみたところ「昔からの盆踊りと、今風の踊りをミックスした盆踊りで、全国の盆踊りで流行っている」とのこと。80余歳になって初めて目にした。

屋外は実行委員会が3ヶ所に屋台を設け、あいにくの雨降りではあったが、いずれも買い物客で賑わっていた。久しぶりにお盆で帰省中の方々も集まり、近況を語り合う場としても大変良かった。大瀬川の盆踊りは、昭和26年に大瀬川青年会が続けていたのが記録にあり、青年会が解散して数年は途絶えたが、平成6年から清流会（8区）が再開していた。

大瀬川夏まつり実行委員会のメンバーは次の通り。7区は菅原渉さん、菅原亮さん、菅原善孝さん、畠山勝敏さん、畠山智明さん、菅原宗一さん。8区は辻村智さん、熊谷信人さん、菅原博さん、板垣雄一さん、板垣生榮さん、板垣伸吾さん、畠山栄喜さん、玉山敦さん、板垣公さん（音響）。9区は熊谷和典（委員長）さん、熊谷茂さん、藤原美輝さん、高橋庄一さん、畠山好之さん、小倉衛さん、熊谷一樹さん、熊谷亮平さん。

大瀬川小学校閉校時のタイムカプセルを発掘

大瀬川小学校は明治7年に開校し、昭和55年3月に106年の歴史を閉じた。大瀬川小学校の閉校時に1年生から6年生までの学年が埋めたタイムカプセルは、4学年分は既に発掘を終えていたが、当時の1年生と6年生の2学年分はまだ発掘されていなかった。当初カプセルを埋めた場所は、現在の東屋（あずまや）の南側の土手であったが、昭和58年に農村環境施設整備事業を導入し、現在の運動公園を造る際に建設業者がプール脇にカプセルを移転していた。今年9月に大瀬川運動公園プールの解体が行われることが決まり、7月23日にかつての級友が集まって発掘をおこなった。

発掘された1年生のタイムカプセルの状態は、埋められた瓶が割れて中に水が溜まり、残念ながら殆どの記録紙は朽ちてドロドロであった。おもちゃ、父兄のお別れ会のカセットテープ（再生不可）、教科書の「しんこくご」「あたらしいさんすう」が、かろうじて読み取れた。

6年生のタイムカプセルを公開

一方、当時6年生が埋めたタイムカプセルは、8月12日に改善センターで同級生7名が集まって43年ぶりに公開した。このカプセルは、7月23日午前中から発掘を行った際なかなか見つからず、一旦解散後に重機を使って再度掘り起こし、夕方に見つかったもの。その時には同級生が解散した後だったために、改めてこの日の公開となった。

カプセルは比較的保存状態が良く、中身は「学級日誌」「自画像」「図書委員会日誌」「運動会記録タイム表」「6年間の思い出」などであった。自画像では熊谷和典（橋見家）さんや熊谷和紀（長四郎家）さん、「6年間の思い出」では板垣克浩（板垣床屋）さん、辻村憲雄（林家）さん、熊谷雄幸（善助竈家8区）さん、板垣菜穂子（谷地家）さん、畠山真理（天神林家）さん、菅原恵里子（小薬師家）、板垣玲美子（長助竈家）さん達の作品が残されていた。

子供育成会がゴミ拾い

大瀬川地区子供育成会（辻村智会長）では8月13日のラジオ体操会に合わせ、早朝に親子20名がゴミ拾いを行った。大瀬川振興センターに集合し、各班に分かれて周辺のゴミを拾い集める姿から「ゴミを拾う人で、ゴミを捨てる人はいない」の標語を思い出した。

落雷2ヶ所で4戸が停電

8月19日の午後2時間程であったが大瀬川でも雷を伴う豪雨となった。この時に藤原美宏さん宅付近と、熊谷律夫さん宅付近の2カ所に落雷があり、4戸が停電した。藤原さん宅では屋内のブレーカー3ヶ所、ボイラーの基盤、DVDレコーダー、蛍光灯などが破損する被害となった。一方、熊谷律夫さん付近では電柱のトランスが焼けた。停電は藤原美宏さん、熊谷律夫さん、板垣忠雄さん、菊池健志さん宅の4軒で、復旧したのは

夜の11時。熊谷律夫さんは「短時間でも停電で不便を被り、大変でした」と話していた。

卓球の全国大会に出場し健闘

辻村大雅さん（久助家・石鳥谷小学校6年）は、6月3日に花巻市民体育館で行われた岩手県ホープス卓球大会で、TEC花巻の選手（4人）として出場し優勝した。TEC花巻は、予選リーグを1位で通過し、準決勝は洋野TTCBチームに3：1、決勝は洋野TTCAチームに3：2で勝利し優勝した。その結果、辻村さんは第41回全国ホープス卓球大会に岩手県代表チームとして出場した。

全国大会は8月11日から13日まで3日間、69チームが参加して東京体育館で行われた。辻村さんのTEC花巻チームは、第5ブロックの団体リーグ戦で富山県代表と山口県代表、群馬県代表と戦い1勝2敗であったが、得失点差で決勝トーナメント（32チーム）に進出した。決勝トーナメント1回戦で惜しくも神奈川県代表の岸田クラブに3：1で敗れたが全国ベスト32は素晴らしい。同道した父の辻村智さんは「とにかく東京は暑かった。それでも大雅は保育園当時から7年間卓球をしていて、その成果を出して全国大会に出場する夢が叶いました。とても良かったです」と喜んでいました。

グラウンドゴルフ大会 大瀬川から3名が選抜

花巻市老連石鳥谷支部主催のグラウンドゴルフ大会は、8月19日と8月26日の2回にわたって行われた。その成績を基に大瀬川からは菅原敬夫さん、敦子さん夫妻と熊谷レイ子さんの3名が、来る9月21日の市老連グラウンドゴルフ大会の選手に選抜された。健闘を期待したい。

大瀬川地内市道3カ所を再舗装

市道大瀬川線の上野々家付近100mと、市道黒森開拓線坂ノ上家付近20mは再舗装が7月に完了した。また、宇南木家の脇を通っている市道大北線は、昨年度吉沢家の東側150mを再舗装していたが、残っていたその北側（市道大瀬川線十字路まで）170mも8月に再舗装を完了した。今年度の大瀬川地内での道路修理としての再舗装は予定の3ヶ所を終えたことになる。

中央長寿会が社会奉仕

大瀬川中央長寿会（菅原得之会長、会員41名）では、全国老人クラブ連合会の「社会奉仕の日」にあわせて9月8日に大瀬川運動公園植栽の剪定を行った。参加者は10名。例年より参加者が少なかったため、振興センター入り口両側の植栽と銀杏周辺の植栽、改善センター前のチャボヒバ2本の剪定を行った。板垣幸夫さんがチャボヒバの一番高い枝を剪定するために、体を支えようと左手で隣の枝を掴んだところ、なにやら「にくっ」と感じたので、見たらなんとと蛇を掴んでいたという。

